

1 事業概要

事務事業名		農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業		課名	農業課	事業No.	179
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		1	若者が帰ってこられる産業をつくる			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム			
				農業振興ビジョン			
法令・例規等							
事業目的		対象	市田柿、南信州牛をはじめとする農畜産物 農業者（農地所有適格法人、一般法人等含む）				
		意図	ブランド力の向上や6次産業化による農畜産物の付加価値向上、販路拡大による収益増				

2 事業内容

30年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		市田柿、南信州牛をはじめ高品質な農畜産物や少量多品目の美味しい産地ブランドの構築を目指し、ブランド推進協議会や関係団体等と連携して大都市圏を中心にプロモーションを実施しました。また、農産物の新たな販路開拓のため、三遠南信連携によるマレーシアでのプロモーション（2回）とバイヤー招聘を実施するとともに、生産団体と連携して台湾、シンガポールでのプロモーションを実施しました。“飯田のファン”づくりの取組として、産地ツアーを実施するとともに、ネットショップで旬な農産物の販売やメルマガによる情報発信を行いました。また、域産域消の食育店と連携して、旬な農産物のPRキャンペーン（2回）を実施しました。		市田柿ブランド推進プロジェクト負担金他	1,059	農産物新マーケットチャレンジ事業	3,015	産地ツアー・ウェブサイト運営業務委託他	500	南信州畜産物ブランド推進協議会負担金	600
			その他の経費				0				
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度				
	市田柿プロモーション活動数	回	3	4	3						
	南信州畜産物プロモーション活動数	回	2	1	1						
	海外展開プロモーション活動数	回	3	3	4						
	農畜産物マーケティング活動数	回	5	8	3						
	産地ツアー実施回数	回	3	3	3						
	6次産業化事業計画認定件数（累計）	件	3	3	3						
30年度決算(千円)	予算額	6,068	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	5,174	(そ)ふるさと寄附金								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	1,700								
一般財源	3,474										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	34	1	1,076	1,059	市田柿ブランド推進プロジェクト事業費
2	1	6	1	4	34	5	3,890	3,015	農産物新マーケットチャレンジ事業費
3	1	6	1	4	34	7	502	500	地域農産物ファン創出事業費
4	1	6	1	4	34	8	600	600	南信州畜産物ブランド推進事業費
5									
6									
7									
振返り課題認識		G I登録された市田柿の購買層は中高年が中心となっているため、新たな消費拡大を目指しターゲットを明確にしたプロモーションを実施するとともに、品質のバラツキが見られることから、更なる品質向上に取り組んでいく必要があります。畜産物のブランド化を推進するため、銘柄豚のPRに取り組んでいく必要があります。産地ツアーの実施やネットショップの運営等により“飯田のファン”の創出・拡大に取り組んでいく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		生産団体や民間事業者等と連携しながら、効果的な市田柿のプロモーションを実施するとともに、関係者が連携して品質向上に取り組んでいく必要があります。畜産物ブランド推進協議会と連携して、銘柄豚のPRに取り組んでいく必要があります。“飯田のファン”を創出・拡大するため、関連事業の連携を強化していく必要があります。							
次年度に向けての取り組み		市田柿ブランド推進協議会や商標・G I管理委員会を中心に市田柿の更なる品質向上とブランド化に地域全体で取り組んでいきます。また、リニア時代を見据え多様な主体と連携しながら農畜産物のPRを行うとともに、銘柄豚のPRツールを作成し地域内外へ発信していきます。農産物の海外販路拡大においては、引き続き生産団体等の取組を支援していきます。							